

大学院ニュースレター

久留米大学大学院医学研究科

第90号／2019年3月29日発行

編集／ 医学研究科長

『リサーチマインドの醸成』

腫瘍センター 教授 緒方 裕

久留米大学では伝統的に実践的で人間性に富む臨床医の育成に力を注いできた。医学、特に臨床医学は Science & Art と言われるように、両者が融合した総合学である。臨床医であっても、常にリサーチマインドを持って科学性、論理性を追求しながら日常の臨床にあたらなければ、良い医療を提供することはできない。

最近懸念されるのは、急性期型大型病院やきわめて特化した専門病院の幹部医師の中には、技術こそ正義と言わんばかりの考えを持ち、「リサーチマインドなどは、少数の医師が持っておればよい」などと技術絶対主義の指導者が増えていることである。決して技術の取得だけでは良い臨床医にはなり得ない。

現在の新医師臨床研修制度は、幅広い視野から臨床にたずさわる姿勢を育成するには非常に効果的で良い制度である。しかし、じっくりと腰を据えて何かに取り組むには、制度的にあまりにも目まぐるしく研修部署が変わりすぎるところがあり、現実としては、リサーチマインドを育成するには不向きである。

後期臨床研修では、専門医育成の方向に

走ってしまい、技術習得が優先されているように思われる。専門医制度ができて以来、若い先生方とはともかくにも専門医資格の獲得に突き進む傾向が強く、「技術」の習得＝専門医資格、という印象を与えている。

専門医資格取得後からでもリサーチマインドの醸成は可能である。しかし、すでに卒後数年以上経過し、目先の臨床業務をこなすことに追われていると、なかなか自分で時間をかけて本を読み、考える習慣が身につかないのも当然かもしれない。やはり「鉄は熱いうちに打て」である。

では臨床医にとってリサーチマインドを身につけさせる効果的な教育や方法はあるのか？最近、基礎医学を専攻する医師は減少しており、医学部の教育内容に問題があると言われている。急激な医学の進歩にともない、修得すべき知識量が修学期間内に修得できる量をはるかに超えてしまっており、学生時代に重要な基礎医学分野を理解でき、リサーチマインドの必要性を感じる学生が少なくなっていることがその理由の一つである。また、学生時代に一つのことに時間をかけて科学的に深く掘り下げて考える機会をつくることは、通常のカリキュ

ラムの中では難しい現状がある。そのような中、久留米大学では、2017年度の第3学年の新カリキュラムで新しく「Research Mind Cultivation Program: RMCP」が導入された。2018年度には第3学年に対しRMCPに関してアンケート調査が行われ、カリキュラムの内容ははじめほぼ満足との集計結果から、RMCPにそれなりの効果が期待できる。しかし、これだけではリサーチマインドを身につけさせる教育としては十分とは言えない。

久留米大学大学院医学研究科博士課程は、医学の臨床、基礎の各分野で先駆的な学術研究を推進するとともに、幅の広い視野、高度の専門性と豊かな人間性を備え、国際的に活躍しうる優れた臨床家、研究者を育成することを目的としている。すなわち、大学院進学は一生携わっていく医学・医療におけるリサーチマインドを身につけるためにあると言っても過言ではない。各種専

門医を取得する前の一時期に経験すべき極めて貴重な時間と考える。若い臨床医にとって時間をかけて物事を根底からじっくりと考え、同じ物でも観点を変えることで真実や新しいことを知り得ることの経験は、将来科学的思考のうえに臨床を展開するためステップと捉えていただきたい。多くの卒業生、たとえ将来開業を志す医師にも大学院進学を勧める理由である。付け加えておくが、久留米大学での乙号博士取得のためのベツトフリーとなる研究期間も意識の持ち方では大変有効なリサーチマインド醸成の一時期となり得る。

幅広い視野に立った科学的・論理的思考と感性に富んだ高度な技術、この2つがそろって初めて、本当の臨床医学が展開できる。そのためには、若いうちにリサーチマインドを醸成することが極めて大切である。



「第20回 久留米大学学術奨励賞の受賞式が執り行われました！」

第20回久留米大学学術奨励賞の授賞者が決まり、3月13日(水)、本館第2・3会議室において、授賞式を挙りました。大学院医学研究科では、「優れた学位論文に対する表彰制度」を設け、優れた研究業績をあげ本学において学位を取得された方々の中から、選考し、「久留米大学学術奨励賞」を授与してその功績を顕彰いたしております。本年度の授賞者は5名です。今後益々のご活躍と次の世代へのロールモデルとなっていきたいと思います。おめでとうございます。



事務通信

進学・進路調査票の提出について

平成30年度内の修士課程・博士課程修了者および修了見込み者を対象に、平成31年4月以降の進学・進路調査を実施しています。本調査は、緊急連絡を取ることがある場合に連絡先を把握する目的のほか、文部科学省「学校統計調査」等の調査基礎資料として活用します。未提出者は速やかに医学部事務部教務課までご提出をお願いします。

平成30年度成績報告並びに平成31年度履修希望調査実施について

修士課程・博士課程在学学生を対象に、平成30年度の成績結果一覧を3月下旬～4月上旬に配布する予定です。併せて、各自の履修状況を踏まえ、平成31年度に履修する科目を決定していただき、履修登録を行うための「平成31年度履修希望調査」を実施致します。書類が届きましたら、速やかに当該年度の履修登録科目を決定し、医学部事務部教務課までご提出下さい。

※平成31年度大学院カリキュラムはそれに同封いたします。

博士課程の皆様へ

現在、博士課程の学生を対象に「研究題目および研究計画について」「論文基礎（応用）研究実習実施研究計画について」を送付しております。専攻科目を分担されている方はどちらも2部ずつ送付を行っておりますので、それぞれの指導教授の署名・捺印の上、ご提出ください。未提出者は速やかに医学部事務部教務課までご提出いただくよう、お願いいたします。



定期健康診断実施のお知らせ

平成31年度は4月23日～26日（15：00～18：30）の間で行われます。都合がつく日時に受診をお願いいたします。なお、未受診者は各自で受けた健康診断証明書の提出が必要となります。やむを得ない理由で期間中に受診できない場合は、保健管理センター（0942-31-7690）までご相談ください。

実施日	4月23日（火）～26日（金）
受付時間	15：00～18：30
実施場所	筑水会館 1階
健診項目	胸部X線、身長、体重、血圧、視力、聴力、尿検査、内科診察

※社会人学生の方で、平成31年度中に勤務先で健康診断を受けられる方は、受診後速やかに健康診断結果の写しを保健管理センターにご提出下さい。また、本学職員で6月の職員健診を受診される方は今回の学生健診を受ける必要はありません。（6月の職員健診を受診しない場合は、健康診断証明書の提出が必要となります。）

※当日は胸部X線撮影に適した着替えやすい服装でお越しください。（ワンピース不可）

第5回学生研究発表会の開催について

平成31年度も学生研究発表会を12月9日（月）・10日（火）に開催します。平成28年度以降の入学生から第2学年もしくは第3学年で必修となっています。近日中にエントリー募集を開始しますので、大学院HPや院生メーリングリストをご確認ください。ご自身の研究の進捗状況を発信し、講座の枠を超えて横断的にフィードバックを得ることができる機会ととらえ、ふるってご参加ください。

学生駐車場 2次募集のお知らせ



大学院学生の皆様を対象に学生駐車場（7番駐車場）の2次募集を行います。申し込み希望者は下記に従って、期間内の手続きをお願いします。

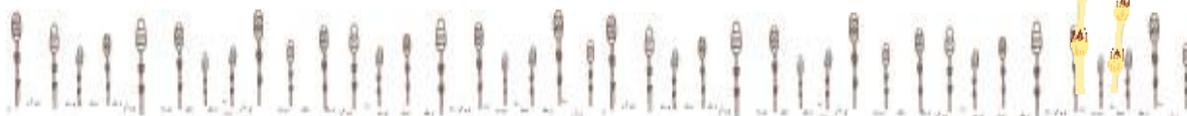
1. 申込期間：平成31年4月5日（金）～12日（金）締切厳守
2. 募集台数：11台
希望者多数の場合は抽選となります。
なお、通学距離が大学より片道2km未満の場合は申し込みできません。
3. 提出書類：駐車場使用許可願（※）・誓約書（※）・車検証コピー
※印の書類については、医学部教務課窓口で受け取られるか、大学院医学研究科HP（<https://www.kurume-u.ac.jp/site/gmed/>）よりダウンロードして下さい。
4. 書類提出先：医学部事務部教務課
5. 使用開始時期：2019年5月1日～2020年3月31日
6. 使用許可通知：決定後、本人宛に通知します。
7. 許可証交付予定日：平成31年4月22日（月）～（医学部B棟2F愛恵会総務部）
※許可通知時に改めてお知らせします。
8. 料 金：22,000円

後期入学試験結果発表！

平成31年2月19日（火）に行われた後期入学試験の結果は下記の通りです。

	修士課程	博士課程
志願者	16名	22名
受験者	15名	21名
合格者	15名	21名

前期・後期合わせた合格者数は、修士課程が30名、博士課程が25名、入学者数は、修士課程が29名、博士課程が24名です。



編集後記

桜も満開となりいよいよ春到来です。新年度は修士課程29名、博士課程24名の新生が入学予定です。大学院事務も新体制のもとで、今後も大学院教育の充実を図り、魅力ある大学院づくりを目指して参りますのでどうぞよろしくお願いたします。（林）